

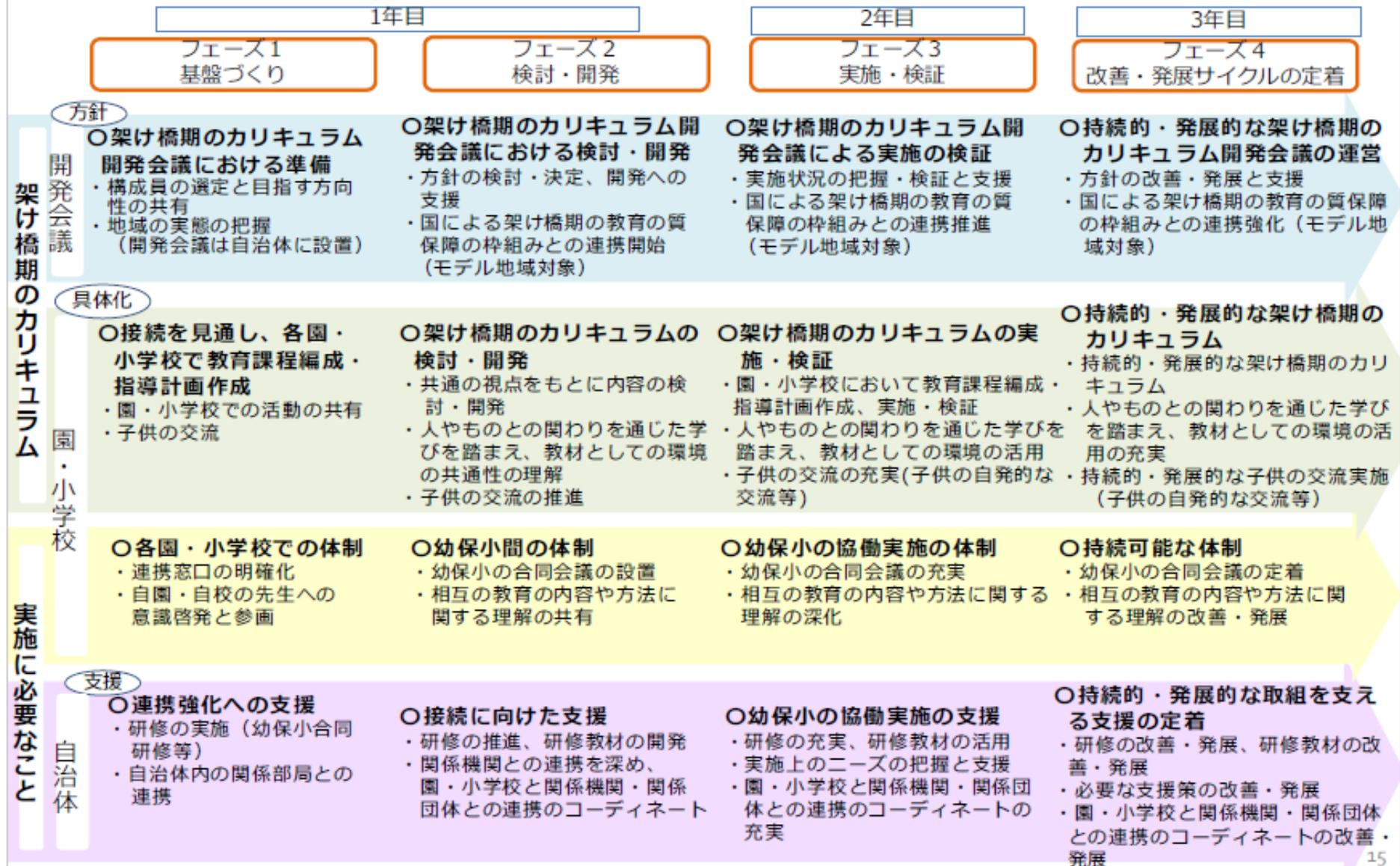
令和 5 年度以降の予定について

令和 5 年 3 月 6 日 (月) 現在

日 程	市	モデル小学校区	小学校区
令和 4 年度	<ul style="list-style-type: none"> ●第 1 回協議会 (1 月) ・ 諮問 ●第 2 回協議会 (3 月) ○令和 4 年度調査 (3 月) 		
令和 5 年度	<ul style="list-style-type: none"> ●第 3 回協議会 (6 月) ・ 第 1 回調査報告 ・ モデル小学校区の役割について ○令和 5 年度調査 (12 月) ●第 4 回協議会 (1 月) ・ 第 2 回調査報告 ・ モデル小学校区の決定 	<ul style="list-style-type: none"> ○モデル小学校区合同会議 (2 月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○各小学校区が主体となり、段階的に幼保小の連携を実施する。 ※令和 6 年度までに、小学校参観、園参観、合同会議を行う。
令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> ●第 5 回協議会 (6 月) ・ モデル小学校区より中間報告 ・ 幼保小接続期プラン(案)、幼児教育推進プラン(案)について ○令和 6 年度調査 (12 月) ●第 6 回協議会 (1 月) ・ 令和 6 年度調査報告 ・ モデル小学校区より最終報告 ・ 答申 ※幼保小接続期プラン・幼児教育推進プラン策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○各園・小学校において実践 ○モデル小学校区合同会議 (5 月) ○各園・小学校において実践 ○モデル小学校区合同会議 (1 1 月) ※モデル小学校区における架け橋期のカリキュラム策定 	
令和 7 年度以降	<ul style="list-style-type: none"> ○幼保小接続期プラン・幼児教育推進プランを周知するとともに、評価・改善・発展させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○架け橋期のカリキュラムを評価・改善・発展しながら継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各小学校区において、架け橋期のカリキュラムを策定する。

2-(6) 進め方のイメージ

注：基盤づくりから改善・発展サイクルの定着に至るまでのプロセスの目安。実際には、地域の実態に応じ、各フェーズ間を行きつ戻りつしながら発展していく。



【参考】 幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き (初版) p.15<R4.3.31 文部科学省>

5-(1) 実施に必要なことにおける園・小学校での具体化の進め方（各フェーズ）のイメージ

フェーズ1 (基盤づくり)

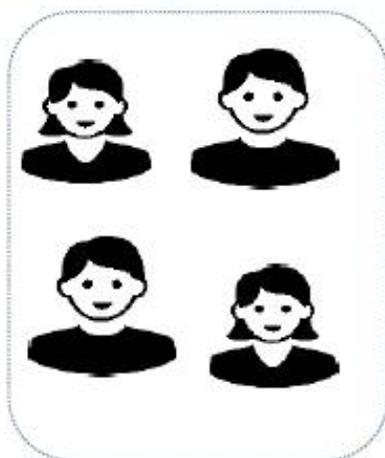


幼児教育施設（園）

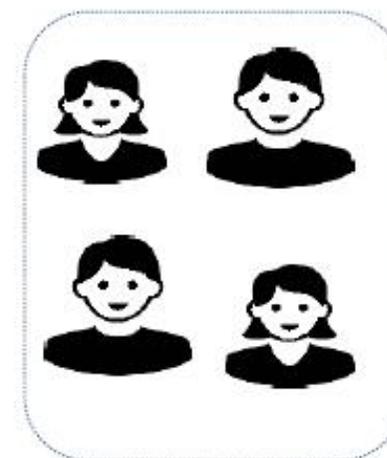
連携窓口はあるが、
合議組織ではない

小学校

フェーズ2~4 (検討・開発~改善・発展サイクルの定着)

合同会議
の構成員を
通して共有

幼保小の合同会議

合同会議
の構成員を
通して共有

⇒具体の進め方のイメージは次ページへ

5-(1) 実施に必要なことにおける園・小学校での具体化の進め方（各フェーズ）のイメージ

【基盤づくり（フェーズ1）】（各園・小学校での体制）

① 連携窓口の明確化

- ・園長・校長の連携とリーダーシップ
- ・園内・校内の先生の業務分担の中に連携窓口を位置づけ、窓口の一元化を図る
- ・幼保小の先生が気軽に話し合えるよう、顔が見える機会を確保する 等

② 自園・自校の先生への意識啓発と参画

- ・園内研修・校内研修等において、先生全員で架け橋期のカリキュラムに取り組む意義やねらいを共有する
- ・連携窓口を通じて、授業参観や保育参観、先生の意見交換会などを行う 等

【検討・開発（フェーズ2）】（幼保小間の体制）

① 幼保小合同会議の設置

- ・構成員と所掌内容を決める（架け橋期のカリキュラム、幼保小の研究会、子供の交流活動等、幼保小の連携・接続に関することを所掌し、園・小学校の各担当者を構成員等）
- ・合同会議では、課題に関する協議を行うとともに、子供の変容や自園・自校の先生の意識の変容等も共有する
- ・合同会議を踏まえた、園内・小学校内体制整備（様々な委員会等との関係の明確化、開催日程の共有、全ての先生の理解と協力、個人に依存しない持続的な体制づくり） 等

② 相互の教育の内容や方法に関する理解の共有

- ・事例を取り上げ、架け橋期のカリキュラムの共通の視点から理解を深めていく
- ・設置者や施設類型、学校種における特有の表現やそれぞれにもつイメージが異なる表現（教育課程、指導、教材等）については、自治体による幼保小の合同研修での経験などを生かし、内容について具体例を示して説明する 等

【実施・検証（フェーズ3）】 （幼保小の協働実施の体制）

① 幼保小合同会議の充実

- ・これまでに蓄積された知見を整理し、相互理解を深める内容や方法について具体的に話し合う（例：参観後の意見交換はどのような視点がよいのか、園・小学校の教育課程や指導計画に関して相互の指導の内容や方法が活かせることはないか） 等

② 相互の教育の内容や方法に関する理解の深化

- ・相手の職場体験、保育参観・授業参観等を通じた気付きや疑問を話し合う
- ・一緒に保育や授業の展開について考えてみる 等

【改善・発展サイクルの定着（フェーズ4）】 （持続可能な体制）

① 幼保小合同会議の定着

- ・園小での持続的、発展的な組織体制を構築する
- ・日々の業務の中で、幼保小の合同会議の開催頻度が低くなることもある。幼保小の先生が意識を共有し続け、子供の実態に応じつつ幼保小の創意工夫を生かした架け橋期のカリキュラムとするため、幼保小の合同会議の定期開催を継続する
- ・話し合う内容についても、日々の課題だけではなく、時には、中長期的な展望をもって話し合ったり、初心に戻って話し合ったりする 等

② 相互の教育の内容や方法に関する理解の改善・発展

- ・幼保小の先生が協働して架け橋期のカリキュラムの作成や実施の過程における気付きを大切に、接続する園・小学校での子供の学びや生活を具体的にイメージしながら、相手の教育の内容や方法について理解し、園・小学校の取組の改善につなげる 等

羽島市における幼保小連携に関わるアンケート

Q1 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園・保育要領」等に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について理解していますか。

- ① よく理解している ② おおむね理解している
③ あまり理解していない ④ 全く理解していない

Q2 幼保小の合同会議や園内・所内・校内の研修会等の中で、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が話題になることがありますか。

- ① よく話題になる ② ときどき話題になる
③ あまり話題にならない ④ 全く話題にならない

Q3 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から見たとき、次の10の姿について、どのように感じていますか。当てはまるものを1つ選択してください。

■幼稚園教諭等：令和4年度に自園を卒園した年長児（5歳児）の1～3月頃の姿を見て

■小学校教諭等：令和5年度に自校に入学した1年生の児童の4～7月頃の姿を見て①よく育っていると感じた ②おおむね育っていると感じた ③課題を感じた

- 1) 健康な心と体 2) 自立心 3) 協同性
4) 道徳性・規範意識の芽生え 5) 社会生活との関わり
6) 思考力の芽生え 7) 自然との関わり・生命尊重
8) 数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚
9) 言葉による伝え合い 10) 豊かな感性と表現

Q4 小学校学習指導要領では、育てたい「資質・能力」の3つの柱を示しています。その3つの柱について理解をしていますか。

- ① よく理解している ② おおむね理解している
③ あまり理解していない ④ 全く理解していない

Q5 Q4の3つの柱について、園内や校内の研修会等で話題になることはありますか。

- ① よく話題になる ② ときどき話題になる
③ あまり話題にならない ④ 全く話題にならない

Q6 （幼稚園・保育園・こども園）小学校の授業参観に参加したことがありますか。

- ① よくある ② たまにある ③ めったにない ④ まったくない

Q 7 (幼稚園・保育園・こども園) 小学校の職員と一緒に研修をしたことがありますか。

- ① よくある ② たまにある ③ めったにない ④ まったくない

Q 8 (小学校) 幼稚園・保育園・こども園の保育の様子を参観したことがありますか。

- ① よくある ② たまにある ③ めったにない ④ まったくない

Q 9 (小学校) 幼稚園・保育園・こども園の職員と一緒に研修したことがありますか。

- ① よくある ② たまにある ③ めったにない ④ まったくない

Q 1 0 (幼稚園・保育園・こども園) 小学校の入学説明会に参加したことがありますか。

- ①参加したことがある ②参加したことがない

令和〇年度 幼保小の連携に関わる小学校区における実態調査(案)

園・小学校名 _____

担当者名 _____

1 小学校(※)区における取組みについて ※義務教育学校前期を含む

○ 今年度の実施した取組みについて記入して下さい。

実施月	場所	形態	内容
例 5月	〇〇小学校	A	園児の生活科の発表を参観
例 7月	〇〇保育園	D	小学校職員の園参観
例 9月	〇〇小学校	BD	園職員の小学校参観の後、意見交流の場を設定した。

<形態>

A：園児と児童の交流 B：職員同士の会議や合同研修 C：地域の行事等に参加
D：学校参観、園参観 E：小学校実習・園実習 F：その他

2 小学校区の合同会議(引継ぎなども含む)について

(1) 幼保小の合同会議を実施しましたか。実施した場合は回数も答えてください。

ア () 回実施した イ 実施しなかった

(2) (1) で実施したと答えた場合、構成員と内容を教えてください。

<構成員>

小学校 ()
園 ()

<内 容>

3 成果と課題 (○成果 ●課題)

○

●

羽島市幼保小連携推進協議会スケジュールの修正（案）

令和5年3月6日（月）現在

日 程	議 題 等	備 考
第1回 令和5年 1月13日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委嘱書交付 ・ 委員長・副委員長選出 ・ 協議会について ・ 諮問 ・ 講話 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西川正晃教授による講話
第2回 令和5年 3月6日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度以降の計画について ・ 小学校区の交流の在り方について ・ 幼保小連携に関わる各学校・園への調査について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査内容は、今後の評価の指標となるものにする。 ・ 第1回調査（令和4年度分）を実施する。
第3回 令和5年 6月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回調査結果の報告 ・ 羽島市幼保小接続期プラン（案）について※削除 ・ 羽島市幼児教育推進プラン（案）について※削除 ・ 幼保小連携のモデル小学校区の取組みについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月に第2回調査（令和5年度分）を実施する。
第4回 令和6年 1月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回調査結果の報告 ・ 羽島市幼保小接続期プラン（案）について※削除 ・ 羽島市幼児教育推進プラン（案）について※削除 ・ 令和6年度の計画について ・ モデル小学校区の決定 	
第5回 令和6年 6月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデル小学校区取組計画について※削除 ・ モデル小学校区の間接報告 ・ <u>羽島市幼保小接続期プラン（案）について</u> ※追加 ・ <u>羽島市幼児教育推進プラン（案）について</u> ※追加 ・ これまでの審議の整理 ・ 答申（案）について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月に第3回調査（令和6年度分）の調査を実施する。
第6回 令和7年 1月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回調査結果の報告 ・ モデル小学校区最終報告 ・ 答申（案）についての審議 ・ 答申 	